

## 熊本大学学術リポジトリシステムの開発について

熊本大学附属図書館 電子情報係 高木貞治

## リポジトリシステムの検討

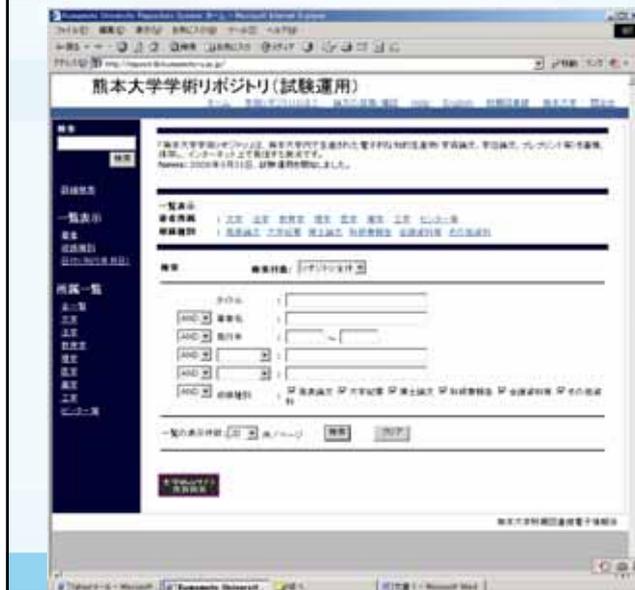
### DSpace の導入、管理について

Linux のオープンソフトウェアを運用、管理する困難さ  
多機能だが、図書館での管理運用には適していない？  
研究者の投稿にも、多くのステップと手間が必要

図書館ソフトウェアメーカーに導入、改造を依頼

DSpaceの機能は維持しつつ、インターフェイスの向上を

## 1. 閲覧検索画面



シンプルな画面

タイトル、著者等、年等の検索BOXを備える

収録タイプからも一覧

## 2. 投稿・確認の認証

### 熊本大学統合認証の採用



職員ID、共通のパスワードでのログインが可能

CAS認証 熊本大学ポータルシステムに対応

### 3. 研究者の投稿手順の簡略化

The screenshot shows a web form titled "投稿者情報" (Author Information) for the "Tsukuba University Journal (Trial Version)". The form includes the following fields and instructions:

- 1. 著者名と所属機関名を入力してください。著者名は必須項目です。** (Enter author name and affiliation. Author name is a required item.)  
Field: 著者名 (Author Name)  
Field: 所属機関名 (Affiliation)  
Instruction: \* 入力が必要最低限の項目に (Input is required for the minimum necessary items)
- 2. キーワードを入力してください。** (Enter keywords.)  
Field: キーワード (Keywords)  
Instruction: \* 著者、キーワード等の繰り返し「/」区切りで入力 (Repeat author, keywords, etc. separated by slashes for input)
- 3. 本文の要約を入力してください。** (Enter the abstract of the main text.)  
Field: 要約 (Abstract)
- 4. すでに発表された論文である場合は、雑誌名、巻号、ページを入力してください。** (If the paper has already been published, enter the journal name, volume number, and page number.)  
Field: 雑誌名 (Journal Name)  
Field: 巻号 (Volume Number)  
Field: ページ (Page)

### 4. 管理者の代行投稿、編集の簡略化

- ・研究者からのメールでの投稿依頼等の場合、管理者側で本人に代行して投稿する機能を追加
- ・上記の際の手間も研究者の投稿と同様に、入力の手間の軽減
- ・CSV形式で複数アイテムの一括インポート、エクスポート
- ・収録タイプについては、あらかじめ登録しているローカルタイプを選択することで、DCMI、NII等のタイプも対応表に基づいて、自動登録

## システムの試験公開

- 平成18年3月31日試験公開

### 初期データ

学内紀要 552件

NII紀要ポータルで公開していたもの

博士論文 250件

別のローカルシステムで公開していたもの

## 図書館とリポジトリシステム

－ 私見ですが －

今後、機関リポジトリは多くの大学図書館にとって不可欠の要素となる

リポジトリシステムも目録、受入、閲覧等と同様に図書館システムの中に位置づけては？